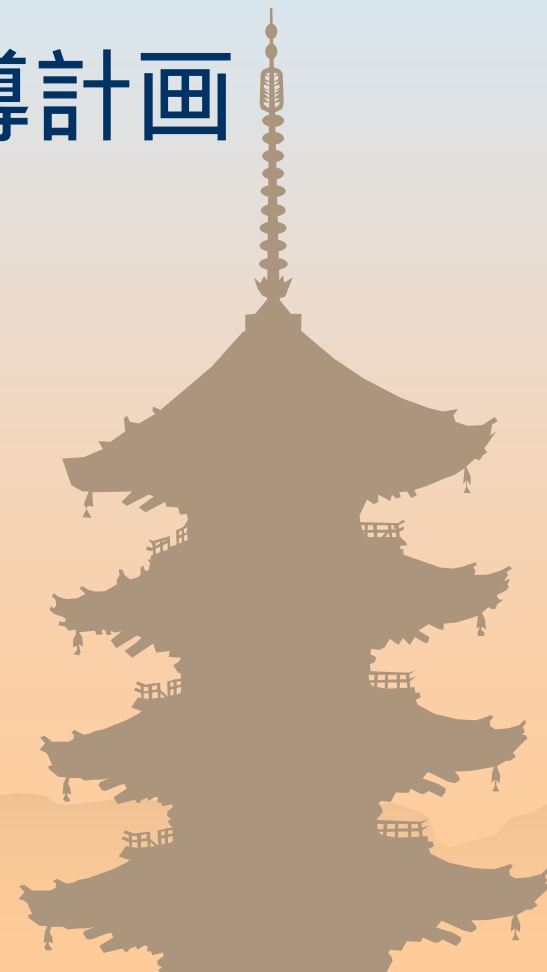


N D P 公開シンポジウム平成17年3月27日
国立国際医療センター
パネル討議「臨床研修が安全に行われるために」

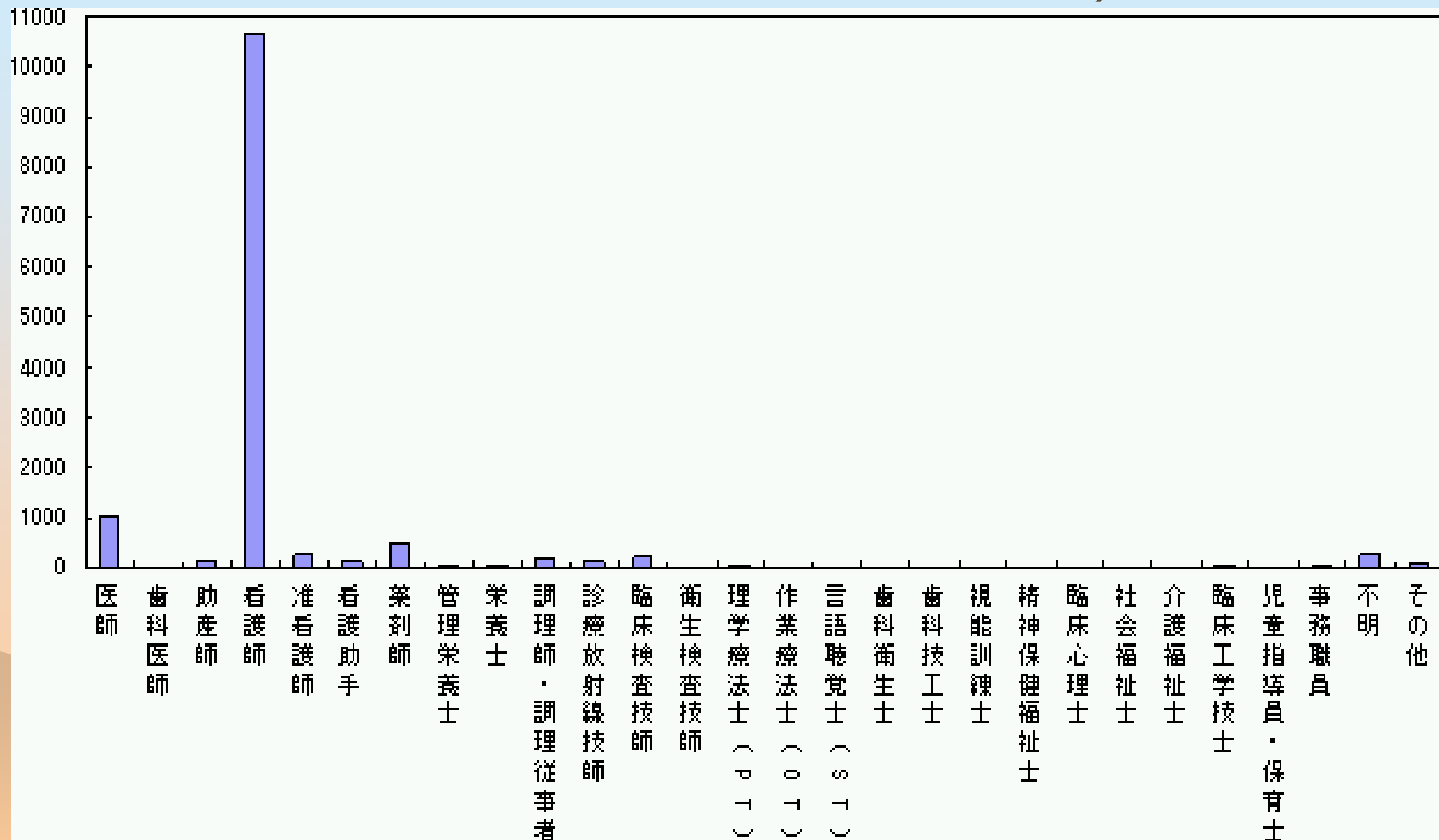
新人看護師の教育指導計画 と安全管理体制

京都大学医学部附属病院

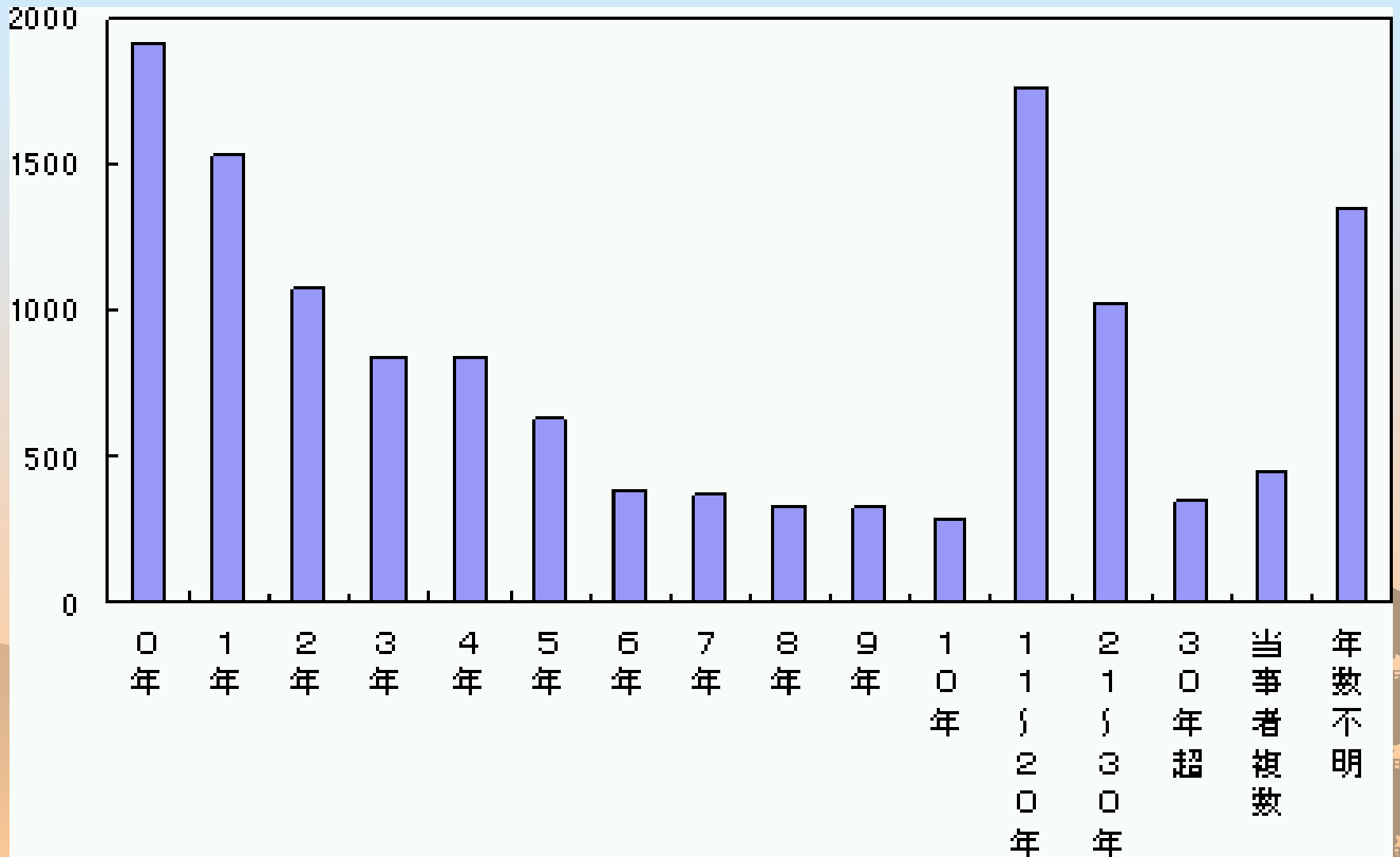
嶋森 好子



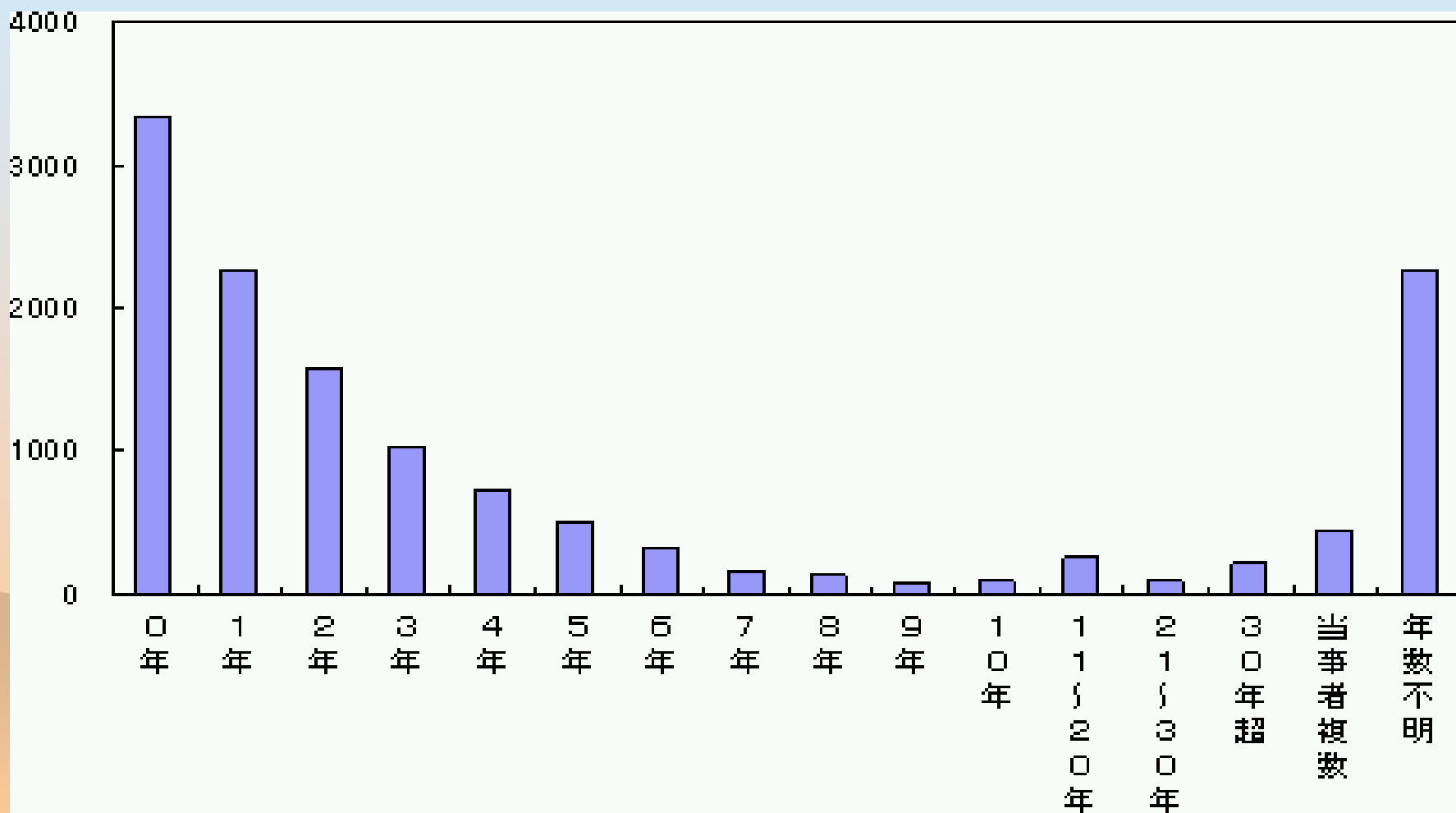
当事者の職種（ヒヤリ・ハット事例の 平成15年10月～12月 全事例）



職種経験年数（ヒヤリ・ハット事例の 平成15年10月～12月 全事例）



部署配属年数 (ヒヤリ・ハット事例 の平成15年10月～12月 全事例)



新卒看護師の技術の習得状況

(看護協会調べ2002年)

<p>入職時、一人でできる (70%以上)</p>	<p>基本的なベッドメイキング・リ ネン交換、TPRBPの測定、 身長・体重測定</p>
<p>3ヵ月後、一人でできる (70%以上) <1人でできるが70%以 下のものは68項目></p>	<p>創傷処置介助、抗生剤の用法と 副作用、インシュリンの種類 と作用のアセスメント、消毒 剤の種類、作用、取り扱い、 意識レベルの観察、チームメ ンバーの応援要請、症状・病 態の把握</p>

新卒看護師の実習経験（診療の補助行為）

- ❁ 酸素療法中の患者の管理：28.0%
- ❁ 気道内吸引の実施：28.6%
- ❁ 創傷処置の介助と観察：38.9%
- ❁ 褥瘡の処置と観察：12.1%（大学卒）、
26.4%（その他）
- ❁ 経口薬の与薬：47.6%
- ❁ 外用薬（点眼・湿布など）：49.4%
- ❁ 皮下注射：12.5%
- ❁ 点滴・静脈注射の準備と介助：いずれも9.0%



新卒看護師の実習経験と現状 (診療の補助行為とコミュニケーション)

- ❁ 中心静脈注射の準備と介助・管理：4.7%
- ❁ 輸液ポンプの準備と管理：6.8%
- ❁ 消毒薬の種類と作用、用途、取り扱い：
15.3%
- ❁ 先輩に自分の意見を言える：29.7%
- ❁ 対象者の話が聞ける：62.7%
- ❁ 電話に対応できる：20.4%



新採用時教育

(日本看護協会調べ 2002年)

実施時間	%	設置主体別国の%
6～12時間	25.4%	国の66.7%、公的機関の30.3%、医療法人の25.5%
24～36時間	17.7%	社会保険関係団体の25%
6時間以下	16.9%	

「新人看護職員の臨床実践能力
の向上に関する検討会」報告書
(平成16年3月)



新人看護職員の卒後の研修を 充実させる必要性

- ❁ 医療技術の進歩、患者の高齢化・重症化、平均在院日数の短縮化等により、療養生活支援の専門家としての看護職員の役割は、複雑多様化し、その業務密度も高まっている。
- ❁ 看護のあらゆる場面で、患者にわかりやすい丁寧な説明を行った上で納得してもらい、看護ケアを提供することが求められている。特に、高齢者に対しては、身体機能の低下を踏まえた緻密な観察と生活援助、ときには精神機能の低下を受容しつつ、人権を尊重し、抑制の回避など適切な看護を提供しなければならない
- ❁ 以上のことから、看護の質を確保、向上させ、国民に安全な医療を提供するために、新人看護職員の卒後の研修を充実させる必要性は非常に高い。

法的責任を求められる看護職員

- ❁ 看護職員は、患者に直接に療養上の世話及び診療の補助業務を行う最終実施者の役割を担う
- ❁ 近年の医療事故裁判の判決においては、医師以上の刑事責任を問われる事例がある
- ❁ 平成13年の保助看護法改正による守秘義務規定が医師と同様に求められることになった
- ❁ 医療機関からのヒヤリ・ハット事例の当事者として新人看護職員の占める割合が高い

新人看護職員の研修に関する法制度

- ❁ 「保健師助産師看護師法」：「医師法」及び「歯科医師法」と異なり、免許取得後の研修に関する規定がない
- ❁ 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」：以下の3点について求められている
 - * 国及び地方公共団体：資質向上に必要な措置を講ずること
 - * 病院等の開設者等：専門知識と技能を向上させこれを看護業務に十分発揮できるような措置を講ずる
 - * 看護師等：自ら進んでその能力の開発及び向上を図ること

臨地実習で採られている教育方法 と卒後研修の必要性

- ❁ 学生が一人の患者を受け持ち、その患者及び家族と関わりながら、看護ニーズを判断し、看護ケアを計画、実践し、評価する
- ❁ そのため、チームメンバーの一員として、臨床現場の多重課題の優先度を考えながら時間内に業務を実施するなどの能力を、基礎教育の中で身につけることは極めて困難であり、複数の患者の受持ちや多重課題への対応等については、新人看護職員研修において修得できる体制を構築する必要がある。

図1 臨床実践能力の構造

I、II、IIIは、それぞれ独立したものではなく、患者への看護ケアを通して統合されるべきものである。

看護技術を支える要素

- 1 医療安全の確保
 - ①安全確保対策の適用の判断と実施
 - ②事故防止に向けた、チーム医療に必要なコミュニケーション
 - ③適切な感染管理に基づいた感染防止
- 2 患者及び家族への説明と助言
 - ①看護ケアに関する患者への十分な説明と患者の選択を支援するための働きかけ
 - ②家族への配慮や助言
- 3 的確な看護判断と適切な看護技術の提供
 - ①科学的根拠(知識)と観察に基づいた看護技術の必要性の判断
 - ②看護技術の正確な方法の熟知と実施によるリスクの予測
 - ③患者の特性や状況に応じた看護技術の選択と応用
 - ④患者にとって安楽な方法での看護技術の実施
 - ⑤看護計画の立案と実施した看護ケアの正確な記録と評価

II 技術的側面

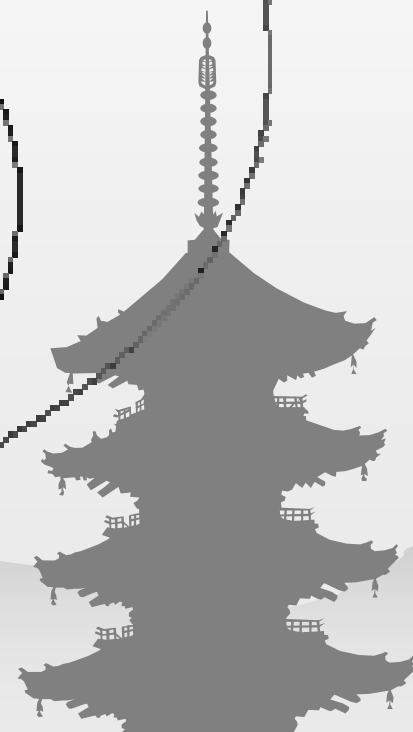
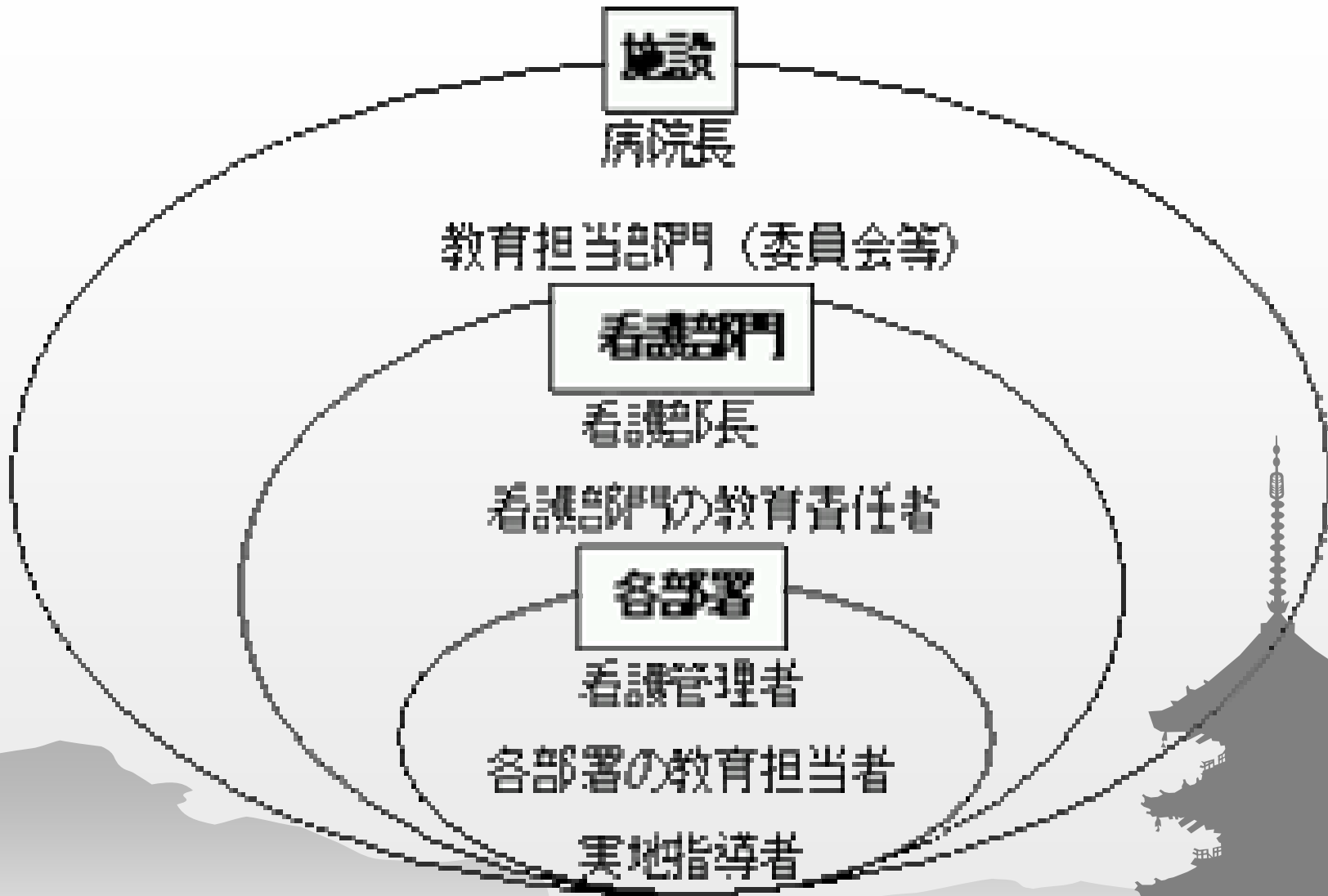
- 1. 環境調整技術
- 2. 食事援助技術
- 3. 排泄援助技術
- 4. 活動・休息援助技術
- 5. 清潔・衣生活援助技術
- 6. 呼吸・循環を整える技術
- 7. 創傷管理技術
- 8. 与薬の技術
- 9. 救命救急処置技術
- 10. 症状・生体機能管理技術
- 11. 苦痛の緩和・安楽確保の技術
- 12. 感染防止の技術
- 13. 安全確保の技術

I 看護職員として必要な基本姿勢と態度

- 1. 看護職員としての自覚と責任ある行動
- 2. 患者の理解と患者・家族と良好な人間関係の確立
- 3. 組織における役割・心構えの理解と適切な行動
- 4. 生涯にわたる主体的な自己学習の継続

III 管理的側面

- 1. 安全管理
- 2. 情報管理
- 3. 業務管理
- 4. 薬剤等の管理
- 5. 災害・防災管理
- 6. 物品管理
- 7. コスト管理



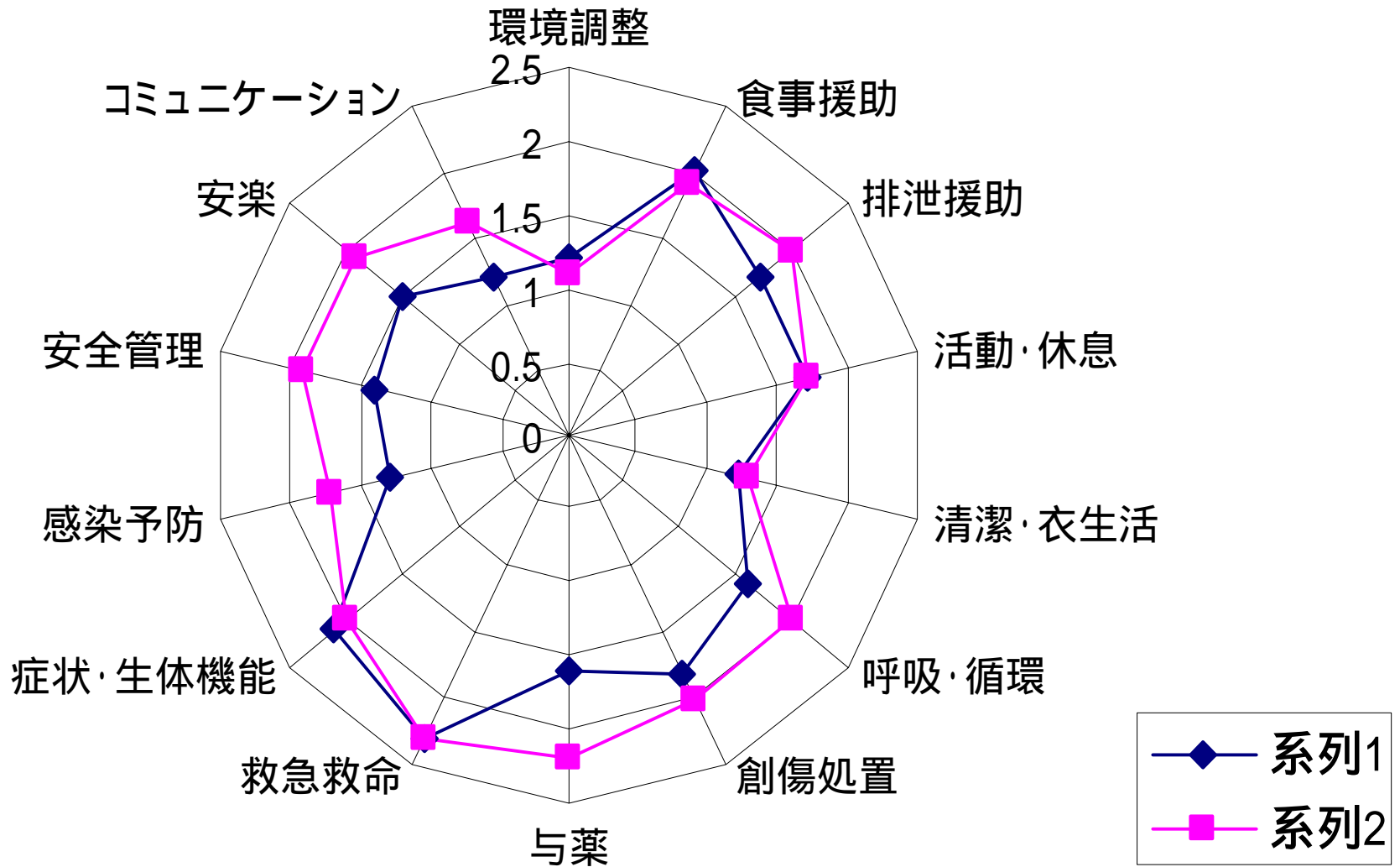
新卒者教育の目的と目標 (17年度京大病院)

- ❁ 教育目的：社会人・組織人としての自覚を持ち、業務を遂行する能力を養う
- ❁ 教育目標：
 - 1) リアリティショックを最低限に留めて職場へ適応できる
 - 2) 社会人として自信を持ち、成長していくことができる。



実習経験の有無と技術の習得状況

(系列1技術の習得状況 系列2実習での経験の有無)



平成17年度 新卒者教育年間計画

時期	中央研修 (OFFJT)		新人	部署 (OJT)
	プリセプター	新人		
4月初旬	受け入れ準備	新採用者オリエンテーション(4日間)	オリエンテーションに参加 所属部署決定	新人受け入れ準備・部署の計画を看護部へ
4月	プリセプター研修(3)	新卒者フォローアップ 15・22・5月6日	個別目標の決定：プリセプター話し合っ て1日。1週・1ヶ月・3ヶ月の目標を立てる	プリセプターシップ開始 <ul style="list-style-type: none"> ・新採用者オリ ・プリセプター会議 ・臨床能力を評価しながら目標設定・修正

集合教育で行う安全管理のため具体的な技術教育

- ❁ 感染管理（手洗の技術を通して、確実な感染管理技術を身につける：スタンダードプリコーション）
- ❁ 救命救急処置（小グループで、ACLSの指導者コース修了者：各病棟に1名はいる：から確実な技術が身につくまで指導をうける）
- ❁ 安全管理の基礎
（輸液ポンプの使い方を通して、マニュアルの意義と指差呼称等の安全行動の実践についての訓練をする）
- ❁ 静脈点滴注射の指導者として教育を受けた（各病棟に1名：注射業務手順書とシュミレーションを用いた教育）
看護師から採血の確実な手技についての指導を受ける

時期	中央研修 (OFFJT)		新人	部署 (OJT)
	プリセプター	新人		
5月	プリセプター研修(4)	・1ヶ月目フォローアップ	OJT:実務につき自分自身を視聴させていく	<ul style="list-style-type: none"> <プリセプターシップによる新人教育> ・プリセプター会議:助言・評価修正 ・プリセプターの間接評価
6月		基礎研修		
7月	プリセプター研修(5)	・3ヶ月目フォローアップ		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者教育の中間評価 ・プリセプター研修(最終) 	・新卒者の中間評価	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の ・個別目標の中間評価 	<ul style="list-style-type: none"> <プリセプターシップの終了> ・プリセプターの最終評価 ・プリセプターシップの最終評価 ・新人教育プログラムの中間評価(中間評価を看護部へ提出)
11月		基礎研修		
1月 2月 3月	新人教育全体評価	基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の評価 ・個別目標の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人教育プログラムの評価(最終評価結果を看護部へ提出)

プリセプター研修（１）

<プリセプターシップ概要>

- 1．プリセプター教育について
- 2．プリセプターシップについて
- 3．リアリティショックとロールトラジション
- 4．プリセプターとしての心構え
- 5．新卒者の教育計画(看護部)
- 6．新卒者の教育計画(部署)
- 7．チェック用紙各種
- 8．部署のサポート体制
- 9．ポートフォリオについて



8 . 各種チェック用紙

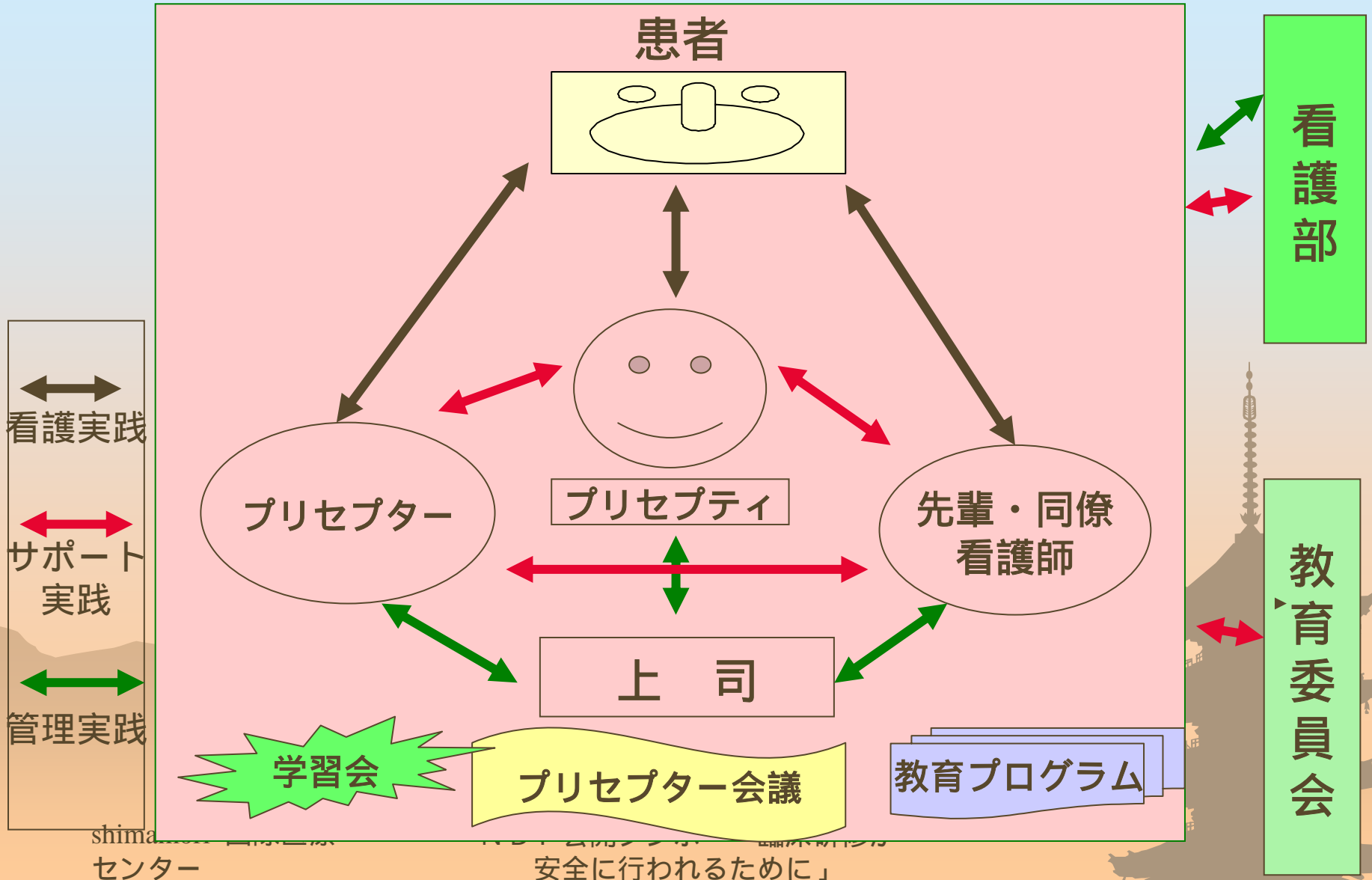
- ❁ 新卒看護師基礎看護技術項目
(入職前・1月)
- ❁ 新卒者の臨床能力自己評価表
(8月・1月)
- ❁ プリセプター自己評価表 (7月・10月)
- ❁ プリセプティによるプリセプター評価表
(7月・10月)

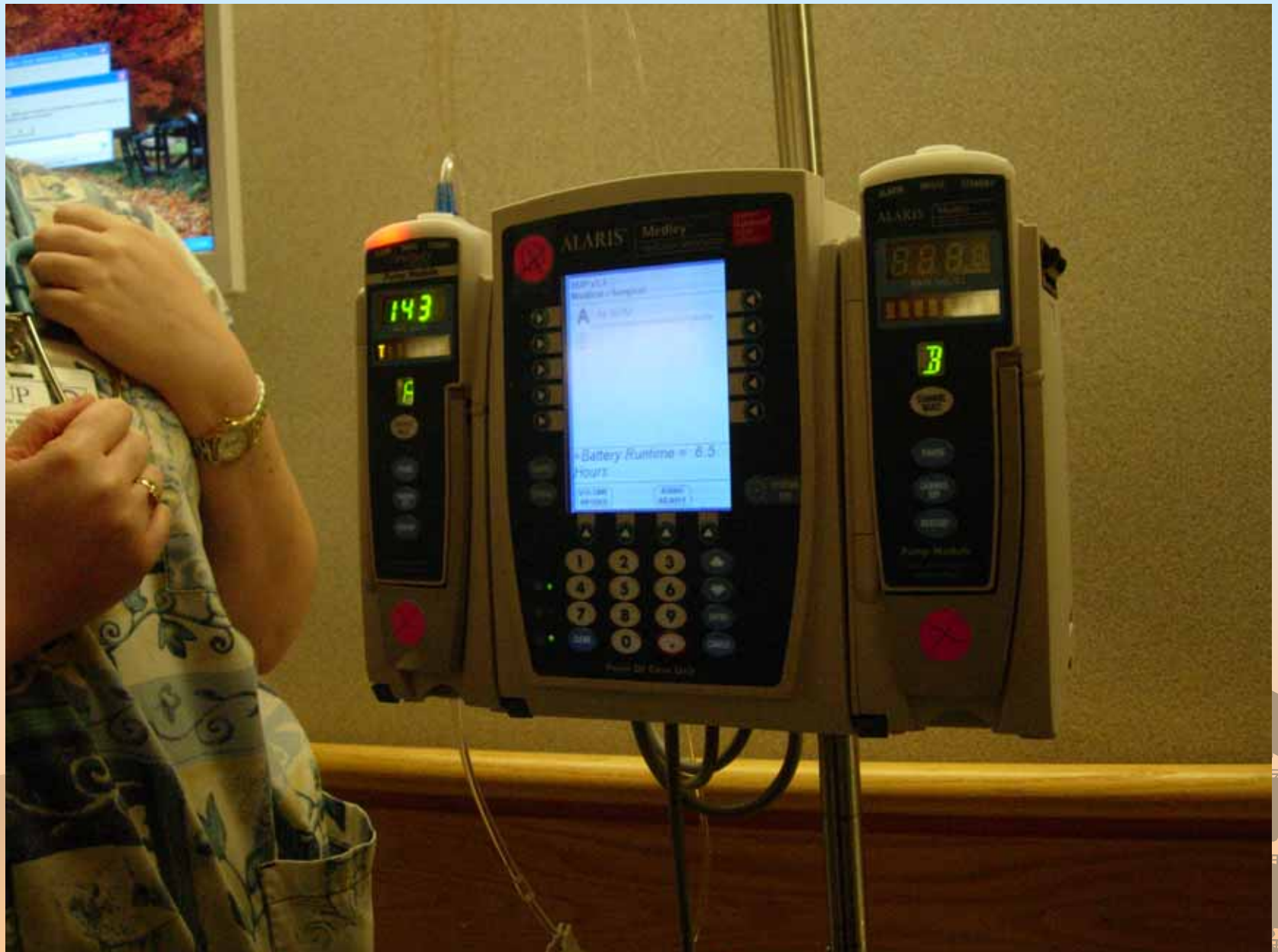
資 料

- ❁ プリセプター教育について
- ❁ 京大病院プリセプター基準（2003年5月）
- ❁ リアリティショック
- ❁ 看護職員として必要な基本的姿勢と態度についての到達目標（「新人看護職員の臨床実践能力に関する検討会」報告書 04年3月）
- ❁ 新卒看護師の標準教育プログラム(各部署用)
- ❁ 新卒看護師起訴看護技術項目評価表（隣地実習での経験の有無と習得状況の評価が可能）
- ❁ 新人看護師の臨床能力自己評価表
- ❁ プリセプター自己評価表
- ❁ プリセプティによるプリセプター評価表
- ❁ ポートフォリオについて



プリセプター支援体制

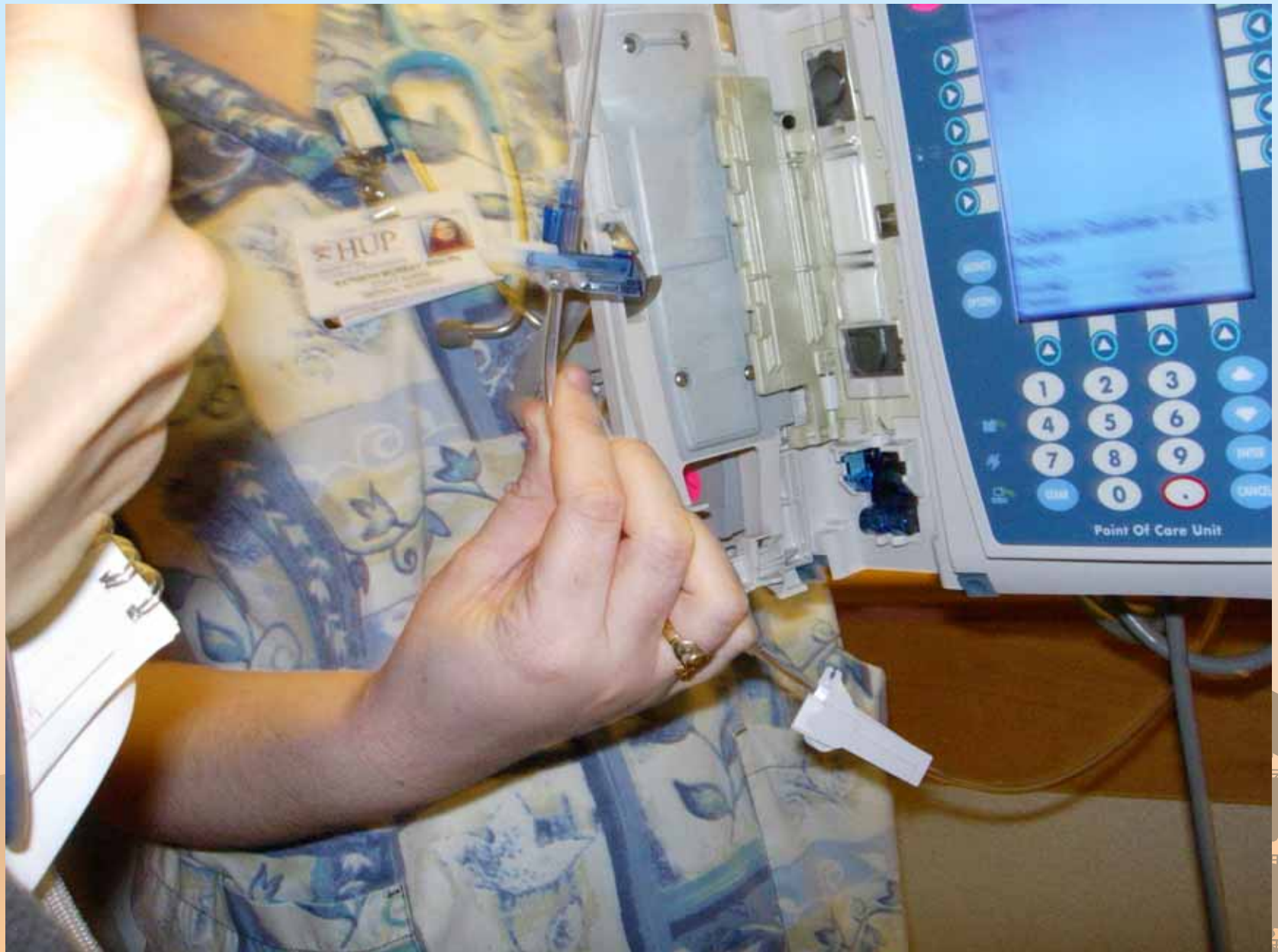




shimamoto 国際医療
センター

NDP公開シンポジウム「臨床研修が
安全に行われるために」





shimamori 国際医療
センター

NDP公開シンポジウム「臨床研修が
安全に行われるために」





shimamori 国際医療
センター

N D P 公開シンポ 「臨床研修が
安全に行われるために」



shimamori 国際医療
センター

N D P 公開シンポ 「臨床研修が
安全に行われるために」